

## 平成 28 年度年次報告のとりまとめ方法

科学技術・学術審議会 測地学分科会地震火山部会において、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」（以下、本計画）の推進について審議等実施しています。平成 28 年度の研究成果に関しても、同部会において取りまとめることになっています。同事務局が、東京大学地震研究所に設置されている地震・火山噴火予知研究協議会（以下、予知協議会）と緊密に連携しながら効率的にとりまとめ作業を行います。

### 成果管理システムを利用した報告書の提出

平成 28 年度年次報告の提出にあたり、前年度までと同様「成果管理システム」を利用する。課題の連絡担当者（課題担当者）が「成果管理システム」に web 接続し、パスワード認証後、必要な報告事項（テキスト、イメージファイル）をアップロードし、システム上で pdf ファイルを作成することで、報告書の提出を行う。年次報告事項は例年の通りである。システムは予知協議会によって設置され、測地学分科会事務局と共同で管理する。ただし各機関の代表者に、その機関における連絡担当者となっている研究課題・観測項目の一部情報管理を依頼する。

なお、本計画のレビューのため、本年度当初に実施された、平成 28 年 6 月前半までの成果報告として既入力の内容について、追加していただくほか、修正を行っていただいてもかまわないものとする。

システムサーバの URL は次の通りである。

<http://yotikyo.eri.u-tokyo.ac.jp/h28/>

### 報告書提出に係る日程

- |             |   |
|-------------|---|
| 1 月下旬～2 月上旬 | 測地学分科会事務局より各機関に報告書提出の依頼<br>連絡担当者への ID/PW 発行とシステム案内の通知 |
| 2 月中旬～2 月下旬 | 報告書提出締め切り   |
| 3 月 6～7 日   | 成果報告シンポジウムに利用<br>基本的には電子媒体での資料提供                      |
| 4 月～5 月     | 平成 28 年度年次報告【機関別】として文部科学省 HP で公開                      |

## 平成 28 年度成果報告シンポジウム (案)

日程：平成 29 年 3 月 6 日 (月) ～3 月 7 日 (火)

会場：東京大学 武田先端知ビル 5F 武田ホール (浅野キャンパス)

主催：「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」成果報告シンポジウム実行委員会

共催：東京大学地震研究所，京都大学防災研究所，地震・火山噴火予知研究協議会 (予定)

後援：文部科学省，防災科学技術研究所，海洋研究開発機構，産業技術総合研究所地質調査総合センター，国土地理院，気象庁，海上保安庁，日本地震学会，日本火山学会，日本測地学会 (予定)

プログラム等詳細は地震・火山噴火予知研究協議会ホームページに掲載します。

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/YOTIKYO/>